

**教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果報告書
(平成30年度分)**

**令和元年9月
豊山町教育委員会**

目 次

第一部 点検・評価制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
I 経緯	
II 点検・評価の対象	
III 点検・評価の方法	
第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価・・・・・・・・	2
I 教育委員会会議の開催と審議状況	
II 教育委員の活動状況	
第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価・・・・・・・・	3
I 生涯学習の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	3
II 家庭教育の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	8
III 学校教育の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	11
IV 文化財の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	21
V 芸術・文化の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	23
第四部 学識経験者による評価・・・・・・・・・・・・・・・・	25

第一部 点検・評価制度の概要

I 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、上記の法に基づく点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書をまとめることとする。

II 点検・評価の対象

平成30年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検・評価の方法

本町教育委員会は、平成30年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を「必要性」、「有効性」、「効率性」、「達成度」の4観点から下記評価基準によって自己点検・自己評価を行い、評価報告書にまとめ、令和元年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）」の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

(図表1 評価基準)

評価記号	基準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

(参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抄))

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況・・・【総合評価 A】

【実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）、教育委員会臨時会を0回（昨年度0回）開催した。会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、20件（昨年度15件）の議案を審議・可決したほか、72件（昨年度51件）の報告を受けた。

○ 詳細については、町のホームページで公開している。

【評価と課題・改善策】

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、委員と事務局との意見交換を積極的に行った。

II 教育委員の活動状況・・・【総合評価 A】

【実施状況と成果】

① 教育委員は、教育委員会議のほか、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。

ア 総合教育会議 1回（昨年度1回）

イ 学校訪問（1日訪問） 2校（昨年度2校）

ウ 町教育委員会学校訪問 2校（昨年度2校）

エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換）3回（昨年度3回）

オ 入学式、卒業式、運動会、体育大会等 4校（昨年度4校）

カ 視察研修 0回（昨年度0回）

キ 愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度1回）

ク 愛日地方教育事務協議会会議 6回（昨年度6回）

ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）

コ 西春日井地区教育委員会連絡協議会臨時総会 1回（昨年度1回）

サ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 2回（昨年度2回）

シ 西春日井地区教育委員会連絡協議会視察研修 0回（昨年度0回）

ス 豊山町教育委員会研修会 0回（昨年度0回）

【評価と課題・改善策】

教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との調整・意見交換会議、現地視察等に参加して、幅広い視野から教育の在り方を検討した。

第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

I 生涯学習の分野

- 冊子『豊山町の生涯学習・平成30年度のまとめ』（以下『まとめ』と省略する）参照
 <『まとめ』P9～11参照>

推進計画の期間 平成22年度から令和元年度までの10年間

テーマ「だれもが学び、学びをつなぐ、人が輝く生きがいタウン」

基本目標1「だれでもどこでも学ぶ意欲を育む生涯学習」と施策

- ① 学習機会を提供し、生涯学習を身近なものにします
- ② 家庭と地域が一体で豊かな心を育てます
- ③ 生涯学習施設などの有効な活用を進めます
- ④ 利用しやすい学習情報を提供します

基本目標2「ともに学び、伝え、交流を広げる生涯学習」と施策

- ① 生涯学習の担い手を広げます
- ② サークル活動を活性化します
- ③ 学習成果を活かす機会を広げ、学びを通して、交流活動を進めます

基本目標3「人が輝くまちづくりにつながる生涯学習」と施策

- ① 地域活動やボランティア活動を支援します
- ② 一人一人の活動がまちづくりにつながる意欲を育てます

5年後の豊山町のめざす姿	子どもからお年寄りまで、誰もが一人一人のライフスタイルに応じて、生涯にわたっていつでも新しい知識を修得したり、学習やスポーツなどの活動を通じて余暇時間をいきいきと過ごすことができる環境を整えます。	総合評価	A
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---

事業1-1	生涯学習のまちづくりの計画的な推進	評価	A
目標	社会経済の状況、地域での学習環境の変化、学習活動内容の多様化などに対応した生涯学習のまちづくりを一層推進するため、生涯学習基本構想・基本計画に基づき、計画的に生涯学習のまちづくりを推進する。		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育分野・福祉分野・ボランティア分野の各代表と公募2名の合計12名の委員で組織する生涯学習推進審議会を2回開催した。 ○ 現在、平成22年度からの豊山町第4次総合計画の基本構想（10年間）の、平成27年度からの後期基本計画（5年間）中であり、生涯学習による豊かな心を育むまちづくりを目指した。 		
評価と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 審議会では、生涯学習まちづくり基本構想・基本計画（平成22年度～令和元年度）の実施状況、生涯学習事業の進捗状況、基本構想実践に向けた進行管理を審議・精査し、効果的な事業展開に努めた。 ○ 第4次総合計画の生涯学習事業は平成30年度も順調に推進した。 ○ 現在の基本構想・基本計画は令和元年度までの計画であり、今後も、生涯学習社会の実現に向けた方向性を定めるものとしての新たな企画が必要なため、新し 		

	い基本構想・基本計画を策定する必要がある。策定にあたっては、町民や社会教育センターなどの利用団体にアンケートを行い、ニーズや活動上の課題、前回実施時との生涯学習に対する意向の変化を把握し、計画に反映させる必要がある。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業1-2	学ぶ機会の充実	評価	S
目標	町民の主体的な参画や大学や企業との連携を一層強化し、体験型講座や地域に密着した学習メニューなど、町民のニーズに対応した学ぶ機会の拡充に努める。		
実施状況	<p>① 生涯学習講座内容の開催 <『まとめ』P12～20 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級、豊寿大学、ローラさんのキッズ英会話、歴史講座、アロマ手作り体験教室、郷土の歴史を巡る、こころ伝わる絵手紙教室、ノルディックウォーク教室、カラーリング教室、ミニテニス教室、あかちゃん広場、中部大学親子講座などの開講 <p>② 文化振興事業の開催 <『まとめ』P20 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とよやま寄席 伝統芸能を楽しむ」 <p>③ 住民参画による生涯学習の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいひろば、放課後子ども教室などの活動に住民などが参画 		
評価と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各講座においてアンケート調査を行うなど、住民のニーズをできるだけ反映させ事業の見直しを行った。特に、中部大学との親子講座では、参加者の興味関心をひくテーマで充実した活動が実施された。 ○ 文化振興事業は、公募によるサポーターとの協働により、企画段階から参画・運営まで自分たちで参加する事業として定着し、町民が気軽に文化・芸術にふれることができる貴重な機会となった。 ○ ふれあいひろば・放課後子ども教室・子ども会・スポーツ少年団などの活動に、住民や文化協会・体育協会所属のクラブやサークルの指導者などが積極的に参画している。 		

事業1-3	学習活動支援の人的体制の整備	評価	B
目標	講師や指導者、ボランティアなど生涯学習に関わる人材を確保・育成するとともに、学習した知識や技術を活用する場の確保に向けた取組を推進する。		
実施状況	<p>① 生涯学習ボランティアバンクの整備 <『生きがいタウンNo47 P10～12』参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ボランティアの募集と登録（7分野） 趣味（将棋・ビデオ編集・編み物・陶芸・茶道・理科工作など）、 家庭生活（美容・子育て）、教養（韓国語）、 体育レクリエーション健康（バウンドテニス・チェックボール・ミニソフトバレー・ウォーキング・ダンスなど）、伝承文化（太鼓・三味線）、 地域活動（生涯学習）、国際交流（交流活動） <p>② サークル登録制度とサークル活動の活性化 <『まとめ』P11 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会や体育協会に所属していないサークルやグループの登録 ・仲間作りと人材育成のサポートやその手伝い 		

	太極拳（3団体）・スポーツ吹矢・アートフラワー
評価と改善策	<p>○ ボランティアバンクの「ふれあい広場」では、順調に活用され成果も高い。しかし、ボランティアバンクの「一般」の方の活用はなかった。ボランティアバンクの一般利用については、利用促進のため、広報への掲載やホームページでの紹介などを行い周知に努める。</p> <p>○ サークル活動においては、登録募集の趣旨が十分に浸透していないため、登録団体は増えていない。また、受講生が講師になって講座を開設する構想も実現していない。サークル情報を提供する啓発活動と情報収集に努める。</p>

事業1-4	学習情報の提供と学習相談体制の整備	評価	A
目標	誰もが、いつでも、どこでも、必要な学習情報を的確に入手できる情報提供体制の充実を図る。また、生涯学習に関する相談窓口体制の構築など、生涯学習に関する情報提供、相談体制の機能の充実を行う。		
実施状況	<p>① 情報提供体制の充実 <『まとめ』P23 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌『生きがいタウン』（4月号・9月号）の発行 町ホームページに掲載し、学校・公共施設・コンビニなどで配布 ・毎月発行『広報とよやま』の「まなびすと」ページでの掲載 講座受講生の感想、キッズレポートでの子どもの声などでの啓発活動 ・生涯学習情報コーナーの設置（社会教育センター内） 国県市町村・大学などの発行するパンフレットなどの設置 <p>② 学習相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びネットあいちなど、インターネットサイトの活用による生涯学習相談 ・相談後の講師やサークルなどの紹介による情報の提供 		
評価と改善策	○ 生涯学習に関する情報提供については、広報・パンフレットなどの紙媒体だけでなく、ホームページなどの多様な通信媒体での情報提供を進めた。また、「とよやまみんなのチャンネル」で情報コーナーを設けて講座などを紹介して情報提供を行っているが、さらに、ホームページで『生きがいタウン』の検索をしやすくするよう努める。		

事業1-5	学習環境の整備と活用	評価	A
目標	社会教育センターやスポーツ施設のほか、学校体育施設や学習等供用施設の設備の充実、生涯学習以外の目的で設置された施設や設備の生涯学習活動での利用拡大を図る。特に、社会教育センターでは航空宇宙関連の図書コーナーを充実する。		
実施状況	<p>① 施設予約システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる予約受付（平成22年度導入） <p>② 社会教育施設の利便性向上 <『まとめ』P59・63 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育センターの利用状況（アリーナ・ホール・研修室など） 年4,705件利用【前年比59件増】 1日平均約13件 ・学習等供用施設の利用状況（東部・新栄・富士の3施設） 年4,931件利用【前年比37件増】 1日平均約14件 		

	<p>③ とよymasカイプールの利用 <『まとめ』 P64 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月7日（土）～9月9日（日）の63日間開場 合計入場者数 44,804人【前年比 4,967人減】 1日平均約 711人
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ とよymasカイプールの入場者数は昨年度より減ったのは、開場日数が減ったためである。1日平均の来場者数は変化なし。 ○ 社会教育センターでの航空宇宙関連の図書コーナーやニーズに応じた様々なコーナーを設置するなどのさらなる図書室の充実に努める。

事業1-6	読書活動の推進	評価	A
目標	<p>本に親しむ環境を整え、児童生徒に豊かな情操を育成する。社会教育センター図書室を中心に関係機関と連携を深めながら子ども読書活動推進計画の実践に努める。</p>		
実施状況	<p>① 社会教育センター図書室の利用状況 <『まとめ』 P61 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開館日数年 287日【前年比 15日増】、貸出冊数年合計 45,544冊【前年比 1,936冊増】 <p>② 豊山町子ども読書活動推進計画の実践 <『まとめ』 P59～62 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊山町子ども読書活動推進委員会（年3回実施）の開催 利用者カード申請書の配布（新1年児童）、新刊図書の案内配布、学校図書館バーコード化への取組、読書活動の情報交換 ・ 親子読書会（年4回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 大型紙芝居・ペープサート劇・手遊び・おもちゃ作りなど 参加者合計 96人（1回平均 24人）【前年比 20人増】 ・ おはなし会（月1回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ 参加者合計 101人（月平均 8.4人）【前年比 49人減】 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 28年 3月に子ども読書活動推進計画（第二次）が策定され、読書活動を推進してこともあり、貸出冊数は増加している。少子化にもかかわらず、おはなし会や絵本読み聞かせ会については、地道で熱心な活動により、読書活動推進に貢献している。 		

事業1-7	社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進	評価	S
目標	<p>スポーツ推進委員・体育振興団体の活動を支援し、社会体育・生涯学習スポーツ事業を充実する。</p>		
実施状況	<p>① 社会体育・生涯スポーツの振興 <『まとめ』 P49～53 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児体操教室（2・3歳児とその親）13組、児童体操教室（小学1～3年）20人、ノルディックウォーク教室（一般）合計 23人、ミニテニス教室（一般）21人、ボルダリング・スラックライン・トランポリン体験教室（一般）6人、体力・運動能力測定会（一般）67人、ニュースポーツ教室（一般）71人、カローリング教室（一般）15人、ミニソフトバレーボール教室（小学生と保護者）63人 <p>② 第 47 回町民体育大会の開催 <『まとめ』 P46・47 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月7日（日）開催 参加者 2,300人【前年比増減なし】 		

	<p>③ 第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月1日(土)開催 記録16町村中14位【前年13位】 <p>④ 第11回とよやまエアポートビューマラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月3日(日)開催 出場者733人【前年比138人減】
<p>評価と改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、スポーツ推進委員をさらに活用し、親子で参加する競技や高齢者向け競技の紹介を促進したり、各講座・教室の内容や時期回数を見直しをしたりして、多世代参加型の生涯スポーツ普及を推進する。 ○ 愛知駅伝に積極的に参加し、町の生涯スポーツの振興に深く関わりをもたせていく必要がある。「とよやまJRC」の活動を支援して選手を養成するとともに、スポーツ推進委員や体育協会の協力を得て駅伝を通じた町の活性化につなげたい。

II 家庭教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	親子の対話やしつけなど家庭での親の役割が適切に発揮され、家族のふれあいが深まっています。また、学校と家庭、地域が一体となって子育ての支援や家庭教育を進めていきます。	総合評価	A
--------------	------------------------------------------------------------------------------------	------	---

事業2-1	家庭の教育力向上への支援	評価	A
目標	乳幼児学級や家族ふれあい事業、絵本の読み聞かせなど乳幼児を対象とした事業を推進するとともに、体験活動など親子の学習機会の充実を目指す。また、子育てサークルの支援や親同士の情報交換、交流機会の拡充により子育てネットワークの構築を図る。		
実施状況	<p>① 乳幼児学級事業の開催 <『まとめ』P38 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 家族ふれあいコンサートの開催（3回） 参加者数 合計44組・91人【前年比19組・39人減】 <p>② 家族ふれあい事業の推進 <『まとめ』P38 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 親子料理教室（後期） 参加者数合計85人【前年比27人増】 家族芸術劇場 劇団うりんこ「名探偵！山田コタロウ」開催 入場者数 午前・午後の部合計240人【前年比169人増】 家庭教育講演会「子育ての極意」参加者31人【前年比20人減】 		
評価と改善策	<p>○ 家族ふれあい事業については、本年度、事業を見直し、親子料理教室に一本化し回数を3回とした。興味を引く内容であり参加者が増加した。今後も、ワークショップなど、受講者参加型の導入を図っていきたい。</p> <p>○ 町保健センターや福祉課など子育てに携わる他部局と、相互に情報の共有・連携を深め、事業の充実に努めていきたい。</p>		

事業2-2	地域の教育力向上への支援	評価	A
目標	子育てや家庭教育に関する相談体制の充実や講演会の開催をはじめ、子どもが安心して安全に放課後活動に取り組める環境づくり、家庭教育事業への父親の参加促進など、地域で家庭教育を支える体制を充実する。		
実施状況	<p>① 放課後子ども教室事業の充実 <『まとめ』P30 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象 豊山小学校児童1年生～3年生 登録66名（1年20名・2年33名・3年13名）【前年比9名増】 登録率33%【前年比4%増】 開催日 給食のある月・木曜日の下校～午後4時 延べ年70回 活動内容 学習・工作・読書・外遊び・地域住民による交流体験活動（三味線・絵本読み聞かせ・昔の遊び・ペープサート劇・卓球など） <p>② ふれあいひろば事業の充実 <『まとめ』P28・29 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 合い言葉「子どもは地域で育てよう」 小中学生だけでなく、保護者や地域の大人も参加できる多世代参加型の文化・スポーツ教室 陶芸・茶道・太鼓・三味線・将棋・バウンドテニスなどの15種目 		

評価と改善策	<p>○ 放課後子ども教室は、近年利用者が増えてきている。地域住民との交流が多く、地域住民と子どもたちが直接ふれあう貴重な機会となり、充実した活動を行うことができている。今後は、他の2校における開設に向けて検討をする。</p> <p>○ ふれあいひろばは、土曜日の子どもの居場所づくりに大きく貢献している。保護者・祖父母も参加できる、多世代参加型の事業として充実した活動がなされ、事業は定着している。しかし、年々全体的に参加者の減少がみられるため、今後、内容の見直しが必要である。</p> <p>○ 「地域の子どもは地域で育てる」ためにも、地域住民が地域ぐるみで地域の子どもたちを育てる、地域の教育力の向上が今後も求められる。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業2-3	子どもの豊かな心を育む学習支援	評価	S
目 標	青少年健全育成団体のネットワークを強化する中で、青少年リーダーの発掘・養成を図るとともに、スポーツ少年団や子ども会の活性化、青少年健全育成のための諸活動の充実連携に努める。		
実施状況	<p>① 青少年育成＜『まとめ』P30～33 参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏季・冬季） 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動 ・ 青少年育成会議の開催（2回） 青少年育成活動事業計画・事業報告について ・ 青少年育成巡回指導事業 夏季（4回）延べ23人参加、冬季（4回）延べ17人参加 ・ 巡回場所 各小中学校区、公共施設、エアポートウォーク、神明公園、コンビニエンスストア ・ 小中学校生徒指導推進協議会の開催（1回） 生徒指導の具体化について <p>② スポーツ少年団への支援 ＜『まとめ』P33～36 参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ少年団の登録率21.5%【前年比1.5%減】 野球71人、サッカー61人、空手29人、卓球53人、バレーボール11人、剣道9人 合計233人【前年比6人減】 ・ 関市上之保地区スポーツ少年団（岐阜県奥山キャンプ場）との野外交流 2泊3日（キャンプファイヤー・魚のつかみ取り・炊飯など） 開催地が被災したため中止 <p>③ 子ども会活動への支援 ＜『まとめ』P39 参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドッジボール大会、カローリング交流会、どろんこ教室、子どものつどい、長野県阿智村交流会、子ども会新聞発行への支援 		
評価と改善策	<p>○ 学校・PTA・少年補導委員等の各種団体との町教育委員会が連携し、巡回指導をはじめとした事業を推進した。また、小中学校生徒指導推進協議会を中心とした生徒指導や情報交換の連携強化などの継続的取組の結果、非行防止をはじめ青少年の健全育成に繋がっている。</p> <p>○ スポーツ活動・清掃奉仕活動などを通じて、小学生を中心に、体力づくり・</p>		

	<p>スポーツ技能向上・児童生徒の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>○ 子ども会では、ドッジボール大会や長野県阿智村交流会など活気のある祭事が開催され、子どもの心身共に健全な発達に寄与している。また、小学生に遊びなどを教える高校生及び中学生を中心としたジュニアリーダークラブ組織が設立された。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅲ 学校教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	子どもたちが基本的な学力を身に付け、道徳教育や体験活動を通じて命と人権を大切に、夢に向かってともに生きる心を育てています。また、教員は教育の専門家として自覚を高め、高い実践力と指導力を備えていきます。	総合評価	A
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---

事業3-1	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
目標	学校評議員や学校関係者評価委員による学校評価活動に保護者をはじめ地域住民の参画を促し、地域全体で学校経営を評価・改善していく取組を推進する。		
実施状況	<p>① 学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の外部アンケート分析を含めた自己評価の実施 ・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会の開催（各校2回） <p>② 地域住民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「民生・児童委員と小学校との懇談会」での情報交換と交流 ・【豊山小】学校行事などの、学校評議員、安心クラブや地域の外部講師の方々への案内 ・【新栄小】マラソン大会などの学校行事に多くの保護者・地域の方々の参観読み聞かせ、地域清掃などへの保護者・地域ボランティアの参加 ・【志水小】地域のゲストティーチャーによる出前講座の積極的活用読み聞かせ・図書館環境整備への保護者・地域のボランティアの参加 ・【豊山中】「民生・児童委員と中学校との懇談会」での情報交換 		
評価と改善策	○ 学校関係者評価委員会の意見を取り入れ、保護者を講師としたキャリア教育を実施するなど、地域に開かれた学校経営を推進した。さらに、保護者や地域の声を聞く機会の増加に努める。		

事業3-2	学習指導・教育環境の整備拡充	評価	A
目標	全小中学校の非構造部材の耐震対策を進める。また、将来的な建替えも含めた改修計画を策定し、防犯性・教育環境の向上、情報教育への対応のための施設・設備の整備・改善を進める。		
実施状況	<p>○ 学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】普通教室空調設備工事 ・【豊山小】運動場整備工事、遊具改修工事、揚水ポンプ更新工事、自動火災報知設備設置工事、給食用リフト改修工事、用務員室解体工事、ブロック塀改修工事 ・【新栄小】自動火災報知設備設置工事、遊具取替工事、キュービクル改修工事、 ・【志水小】プール槽内シーリング補修工事、遊具取替工事、3階廊下及び西階段改修工事、トイレ改修工事、消火栓改修工事 ・【豊山中】トイレ改修工事 		
評価と改善策	○ 全小中学校の普通教室への空調設備工事に着手し、学習環境の改善を進める		

	<p>ことができた。各校とも校舎の老朽化が進行しているため、整備・改善に係る計画策定に取り組んでいる。</p>
--	---------------------------------------------------------

事業3-3	特色ある学校教育の推進	評価	S
目標	<p>子どもの基礎学力の向上や豊かな心を育てる特色ある学習活動や教育活動を実践する。外部講師の招へいや学校行事への地域住民の積極的な参加を促すなど、地域や企業・事業所等との連携による開かれた教育活動を推進する。</p>		
実施状況	<p>○ 地域等との連携による教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】あいち航空ミュージアム見学（6年生）、どじょう寿司を味わう会（3年生） ・【豊山小】豊山関との交流イベント（全児童）、茶道教室（6年生）、福祉施設「しいの木」「しらゆりの里」訪問（5年生）、和太鼓教室（4年生） 魚のさばき方教室（6年生）、STEM教育（5年生） ・【新栄小】一輪車検定・運動会ダンス・親子芸術鑑賞会（全児童）、空港イベント事業「空の日」に合唱隊参加（高学年）、魚のさばき方教室（6年生）・大山川水生生物調査（5年生）、特別養護老人ホーム「あいせの里」訪問（4年生）、和太鼓の体験、昔の話を聞く会（3年生）、サツマイモ掘り・タマネギ収穫（2年生）、陶芸体験（特別支援学級） ・【志水小】アルミ缶・エコキャップ回収活動・芸術鑑賞会（全児童）、北部市場による「魚大好き命の講座」（5年生）、戦争体験を聞く会（5年生）、和太鼓出前講座（4年生） ・【豊山中】長野県治部坂高原スキー場でのスキー研修（1年生）、名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏会 		
評価と改善策	<p>○ 中学校での、全生徒参加のスキー研修及び名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏会は、本町独自の事業であり、生徒からも好評を得た。また、あいち航空ミュージアム見学、どじょう寿司を味わう会など地元の特色や財産を十分に活用して教育活動を進めた。今後、航空産業の町である特色を生かした取組や、国際交流を取り入れた取組をさらに進める。</p>		

事業3-4	健やかな児童生徒の育成	評価	S
目標	<p>児童生徒が健康で安心して義務教育を受けられるよう、食生活の指導や健康診断の実施、心理カウンセラーによる相談事業など児童生徒の心身にわたる健康の維持・増進を図ります。登下校時の安全対策や不審者対策など安全体制の確立、特別な支援教育を要する児童生徒への支援・指導を推進する。</p>		
実施状況	<p>① 年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習 <p>② 各校での学校保健活動の取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「早寝早起き朝ごはん」運動、むし歯予防「フッ化物洗口」（6年目）、とよやま健康マイレージへの参加、「ノーテレビ・ノーゲームデー」（毎月1回）の取組、「生活チェックカード」「元気アップカード」の活用など 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】全国歯みがき大会に参加（5年生）、すこやか集会（2回） ・【新栄小】全国歯みがき大会に参加（4年生） 保健委員と給食委員による「食に関する児童集会」 ・【豊山中】薬物乱用防止教室（2年生）、WYSH教育（3年生） <p>③ 安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】自転車での交通安全教室（3年生） ・【豊山中】「地域の方（保護司）のお話を聞く会」 ・【3小学校・保護者】安全教室（特定非営利活動法人あいちCAPプラス） <p>④ 通学路点検・ブロック塀緊急点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全プログラムにより、尾張建設事務所、西枇杷島警察署及び関係機関による通学路点検（通学路のカラー塗装などの要望） ・ブロック塀の緊急点検、豊山小学校敷地内のブロック塀の撤去 <p>⑤ 町支援員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員4名（豊山小2名、新栄小1名、志水小1名） ・語学支援員（中国語）1名（全小中学校対象） ・町採用スクールカウンセラー2名（豊山小1名、志水小1名）
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体による年間を見通した計画的な実践により、児童生徒の健全育成が図られた。 ○ 通学路点検、及び、交通安全指導により、交通安全体制の充実を図り、児童生徒の大きな交通事故も発生していない。不審者対応など、通学路のさらなる安全に努める。 ○ スクールカウンセラーの相談事業が充実し、小中連携を進めた。

事業3-5	安全で安心できる学校給食の提供	評価	A
目標	給食センターの施設設備や新たな調理システムの導入に向けた調査研究を行うなど、学校給食体制を充実し、食の安全確保や食育の取組を推進する。		
実施状況	<p>① 給食センター運営・献立委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの建て替えに関する審議 ・給食センターの業務や献立についての調査研究と審議 <p>② 食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小学校】どじょう寿司を味わう会：町おこしの会（3年生） ・【豊山小】魚のさばき方教室：北部市場（6年生）、茶道教室：PTA 茶道部 ・【新栄小】魚のさばき方教室：北部市場（6年生） ・【志水小】五平餅づくり：出前講座 東邦ガス（5年生）、豆腐づくり：出前講座 JA尾張中央（5年生）、魚大好き命の講座：北部市場（5年生） <p>③ 食の安全講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】食物アレルギー児童の保護者との面談（4月当初・1年生） エピペン研修会（対処法）へ参加、食の安全講習会 年1回開催、対象者 調理員・配膳員・栄養教諭・用務員・学校給食主任など <p>④ 新給食センターの建設</p>		

	・新給食センターの建設用地を決定し建設説明会の開催（2回）
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特色を活用した取組が増え、昨年度以上に食育の充実が図られている。 ○ エピペン対処の児童生徒が年々増えてきており、食物アレルギーへの対応には給食センターと協力し、事故のないよう細心の注意を払っている。給食の調理提供にも最新の注意を払っているが、2件の異物混入事故を受け、再発防止に努めるため、マニュアルを見直した。 ○ 新給食センター建設工事は順調に進んでおり、住民説明会など地域に対しても丁寧に周知を図っている。

事業3-6	教員の資質向上	評価	A
目標	町内小中学校における授業研究を中心とする校内現職教育を進め、教員の資質向上（教師力向上）をめざす。		
実施状況	<p>① 校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】「確かな学力と豊かな心をを育む指導法の工夫」 －算数と道徳の授業実践を通して－ ・【新栄小】「自ら気付き、関わりあいを通して考えを深め、粘り強く追究する児童の育成」 －導入とノート指導の工夫を通して－ ・【志水小】「深く考え、判断し、自分のことばで表現できる児童の育成」 －聴き合い、学び合う活動を通して－ ・【豊山中】「確かな学力を身につけた生徒の育成」 －基礎・基本の定着を図る授業実践を通して－ <p>② 豊山町冬季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領（主体的・対話的で深い学び）を踏まえ、タブレットを使った指導方法についての研修（町内全教員参加 講師：情報通信総合研究所 特別研究員 平井聡一郎氏） 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校では現職教育の研究テーマのもと校内研修を充実させ、授業力が向上した。 ○ 愛知県で先駆けてタブレットを導入し、研究協議会などを通して新学習指導要領の趣旨を取り入れた指導方法を研修した。 ○ タブレットの活用など、指導方法が児童生徒に有効に働くよう、さらに研修と検証に努める。 		

事業3-7	魅力ある教員の養成	評価	A
目標	経験豊かな教員の実践的知識や指導技術を次世代に引き継ぎ、若手教員を確実に育成する。		
実施状況	<p>① 経験や職務内容に即した研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生徒指導など、実践的指導力の向上（初任者研修・10年目研修） ・専門職としての資質能力の向上（養護教諭・特別支援学級担任・事務主任・保健主事・生徒指導主任など） <p>② 町講師研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町採用非常勤講師（14名）研修会（4回） 		

	<p>教員としての心構え、研究テーマをもとにした授業実践、『実践報告書』の作成、研究協議会の開催</p> <p>③ 不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰・暴言、セクハラ・わいせつ、情報漏洩、交通事故・違反の防止 ・不祥事根絶に向けた小グループでの話し合いの取組
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町講師対象の研修会は、実践的内容であり、若手教員の育成に効果的であった。 ○ 若手教員の急増により、どの学校も、若手教員とミドルリーダーの育成にOJTを取り入れた研修を充実させた。不祥事防止に向けた研修に力を入れていく必要がある。

事業3-8	校務支援の推進	評価	A
目標	会議等の削減、組織の効率化を図り、校務処理のIT化・共同実施化を推進し、教職員の負担を軽減する。		
実施状況	<p>① 会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム活用の推進（連絡掲示板、C4th会議室） ・ペーパーレスの導入、企画委員会や朝の打ち合わせの廃止・精選 ・ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の取組、定時退校日の設定 ・【豊山小】会議資料の電子化の推進、「部活なしデー」、朝の打合せの削減 ・【新栄小】電子黒板や教材提示装置などの機器を活用した授業の展開 ・朝の打ち合わせの実施回数削減、部活動終了時刻の見直し、部活動なし週間の設定 ・【志水小】ペーパーレスへの取組、「部活なし期間」の設定、学校行事の見直し ・【豊山中】打合せ・会議の精選、「部活なしデー」の設定 <p>② 学校事務の共同実施化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C4thの活用による事務処理の効率化・適正化 ・子どもと向き合う時間の確保に向けて、サーバー上でやりとりの実践 ・豊山町共同実施組織としての事務処理 事務職員のOJTの推進 ・共同学校事務室設置に向けた例規整備 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県の働き方改革の方針のもとに、教職員の多忙化解消のため、「会議の持ち方（回数・資料の削減など）の改善」「定時退校日の設定」「部活の休養日の設定」などの教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを推進している。 ○ 地教法第47条の5に規定されている、共同学校事務室については例規整備を行い、平成31年4月に立ち上げる環境を整え、より一層の効率化を推進し、さらなる教職員の負担を軽減するよう努める。 		

事業3-9	教員に対する支援チームの結成	評価	A
目標	保護者・地域からの要望には学校全体で対処し、その解決に全力を尽くす。状		

	況に応じて関係機関との連携を図る。
実施状況	<p>① 教員を支えるサポート組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域からの苦情には教員一人で悩まず、学校全体で対処し、スクールカウンセラーやPTAを含む全校でのサポート態勢の確立 ・関係諸機関との連携・活用を積極的に図る。 <p>② 外部ボランティアやゲストティーチャーによる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】地域住民による絵本の読み聞かせ・ペープサート劇鑑賞、老人クラブによる登下校見守り隊、どじょう寿司を味わう会など ・【新栄小】陶芸体験、「おやじの会」のボランティア活動 ・【志水小】戦争体験を聞く会、「教えてもらおう 仕事のあれこれ」（保護者による仕事の話の聞く会） <p>③ 企業・事務所との連携による支援（キャリア教育と兼ねる）</p>
評価と改善策	○ 外部のボランティアや講師の協力的な支援は、多種にわたり、児童生徒の育成の手助けになった。必要性の増している通学路の安全確保をはじめとする学校をとりまく諸課題について、登下校での見守り隊や関係諸機関とのさらなる連携を進めるよう努める。

事業3-10	キャリア教育の確立	評価	A
目標	キャリア教育の充実に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた勤労観や職業観を育成する。		
実施状況	<p>① キャリア教育に関わる出前講座の活用【3小学校の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生 地元農家による「さつまいも掘り・タマネギ収穫」 ・3・4年生 地元農家による「農家の仕事を聞く会」「タマネギ収穫体験」 ・5年生 名古屋市中央卸売市場北部市場による「魚食文化を学ぶ・命の講座」 県職業能力開発協会による「ものづくり（左官・大工）出前講座」 地元音楽関係者による「いろはに邦楽」 航空会社の現役パイロット・客室乗務員による「FDA航空教室」 航空機製造会社による「MR J出前教室」 ・6年生 名古屋市中央卸売市場北部市場による「魚の捌き方教室」 地元業者・ものづくりマイスターによる「和菓子づくり講座」 愛知県建設部による「まちづくり出前講座」 あいち航空ミュージアムの見学 ・特別支援学級 「陶芸体験教室」 <p>② 職場体験学習・進路学習の実施【豊山中の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生 町役場・総合福祉センター「しいの木」・保健センター・保育園・幼稚園をはじめ、35か所の公共施設・福祉施設・商業施設で職場体験 ・2年生 高等学校15校への「上級学校（高校）訪問」、「生き方を学ぶ会」の開催 		
評価と改善策	○ 小学校では出前講座により、中学校では職場体験学習により、職業観を育成するキャリア教育が推進された。特に、空港や航空機産業についての学習は、		

	<p>地元豊山町の将来を見据えた大切なキャリア教育教材であり、今後も推進するよう努める。</p> <p>○ 今後も、地域の人材や施設を積極的に活用し、専門的な知識をもっている社会人や職業人の外部講師から直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の育成を進めるよう努める。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業3-11	英語教育と小学校外国語活動の推進	評価	A
目標	<p>小学校からの英語教育を充実させ、効果的な実施を進める。異なる文化や価値観を尊重し、豊かな国際性を育むために、国際理解教育の充実を図る。</p>		
実施状況	<p>① ALT（外国語指導助手）の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTと担任とのTT（ティーム・ティーチング）による英語教育の推進 小学1年生からの英語によるコミュニケーション能力の育成 1・2年生「国語や生活科」年3時間、3・4年生「総合」年9～10時間の実施 ・【豊山中】主体的・対話的で深い学びを目指した音読劇の取組—ALT とのTeamTeaching— <p>② 校内現職教育（英語）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語科新設を踏まえ、小学校英語の指導方法についての研修（3小学校実施 講師：愛知県立大学 准教授 池田周先生） ・教務主任を中心にお互いの学校の授業を参観し、情報共有を行った。 <p>③ 英会話への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【志水小】奈良京都の修学旅行先で外国人にインタビュー（6年生） ・【豊山中】各種英語スピーチコンテスト入賞、英語朗読コンテスト優秀賞（英語部）、モーゼスレイク市との交流事業 		
評価と改善策	<p>○ 小学校では、令和2年度からの「外国語（英語）」の教科化に向けて、研修の推進を図り、教員の指導力を高めた。</p> <p>○ 外国人や英語に触れる機会を増やすよう努める。</p>		

事業3-12	情報教育の推進	評価	A
目標	<p>ICT機器を活用し、児童生徒に情報活用能力や情報モラルを育成する。</p>		
実施状況	<p>① ICT機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】ICT機器の効果的な活用を現職教育のテーマに導入 デジタル教科書や書画カメラの活用、効果的で分かりやすい教材提示の工夫、ICT機器を取り入れた授業の質の向上、タブレットの活用 ・【豊山中】社会科・体育・美術の授業での効果的な活用（写真・動画など） <p>② 情報モラル育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】保護者参加の「携帯スマホ安全教室」の開催 町作成保護者向け資料『ネットトラブルから子どもを守るために』の活用 ・【新栄小】「情報モラル教室」（6年生と保護者） ・【志水小】「情報モラル教室」（3～6年生と保護者） 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】技術・家庭科の授業を核とした、タブレットPCの活用、コンピュータやSNSで入手した情報の適切な活用能力の育成
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の積極的な活用によって、児童生徒に基本的な知識・技能を定着させることができ、情報活用能力の育成に寄与することができた。小中学校では、タブレットPCの活用を進めている。 ○ 情報モラルの育成は、情報化社会において必要不可欠であるため、ICT機器の活用推進と併せて取り組むよう努める。

事業3-13	就学援助の充実	評価	A
目標	児童生徒の教育機会を保障するため、保護者に対して経済的な援助を行う。		
実施状況	<p>① 就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助法に基づいた援助の実施 ・経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者 ・経済的な負担軽減のための特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者 <p>② 教育振興事業による援助（全児童生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の副読本、夏休み冬休みの日誌、知能検査、学力検査（CRT） <p>③ 準要保護者への就学援助費・奨励費の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学生用品費・修学旅行費・学校給食費の支給 ・就学予定者への新入学生用品費前倒し支給の実施（平成30年12月から） 		
評価と改善策	○ 就学援助を必要とする保護者に、就学支援制度の周知を積極的に図り、経済的な援助を行うことで、適正な就学支援を充実させることができた。		

事業3-14	道徳教育の推進	評価	A
目標	これまでの道徳教育や体験活動の在り方を見直し、地域共同体の中において地域の人材による学校支援ボランティアを活用し、豊かな心を育成する観点を一層重視する。		
実施状況	<p>① 挨拶・ふれあいでの交流【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流 <p>② 読み聞かせの実施【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域ボランティアによる本の読み聞かせを定期的実施 本への興味・関心を高め、読書習慣の育成と定着化 <p>③ 地域（学校）支援ボランティアによる交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】親子除草作業などでの交流、和太鼓教室、読書クラブボランティアによるペーパーサート鑑賞、どじょう寿司を味わう会 ・【豊山小】木遣りを聴く会、神楽を学ぼう ・【新栄小】和太鼓体験、バラの剪定指導、昔の話を聞く会 ・【志水小】昔の遊び指導 ・【豊山中】町主催の健康フェスティバルや防災訓練での交流 <p>④ 道徳の授業改善</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化に伴い、議論する道徳に向けた授業研究や研修の実施 ・評価方法についての検討
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの地域の学校支援ボランティアとの交流・ふれあいが、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後も進めていく。 ○ 道徳の授業が生かされる交流活動の場となるように、工夫していく。

事業3-15	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	S
目標	体力向上に向けた取組を学校体制で実施する。部活動や対外活動を支援するための外部指導員を拡充する。		
実施状況	<p>① 体カづくりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】クラス対抗長なわとび（年2回）・なかよく運動大作戦への取組 ・【新栄小】一輪車・なわとび運動・マラソン運動への積極的な取組 ・【志水小】なわとび運動・志水っ子ランニング <p>② 小学校での水泳教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】「水泳教室」（15m泳げない児童を対象）による成果（新栄小・志水小は猛暑のため中止） <p>③ 部活動での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【中学校】＜豊山中学校の地区大会・愛日大会・県大会の主な結果＞ 男子卓球部（地区団体3位・愛日2位・県大会出場） 女子バレー部（地区優勝）、女子卓球部（地区団体準優勝） 女子バスケット部（地区準優勝）、男子バレー部（地区3位） 女子ソフトボール部（地区準優勝） <p>④ 部活動振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】外部指導員による部活動支援（バトン部） ・【豊山中】外部指導員による部活動支援（野球部・ソフトボール部） <p>⑤ 「部活動指導ガイドライン」の策定（平成30年10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の総合的指導方針として策定した。 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上に熱心な取組の結果、小中学校とも部活動ではよく健闘した。 ○ 部活動指導ガイドラインにより、全小中学校が同一歩調で活動方針を打ち出すことができた。 ○ 外部指導者の拡充に向けては、部活指導の意義や指導方法と指導方針について学校との共通理解に努める。 		

事業3-16	いじめ・不登校への対応	評価	A
目標	いじめを許さない学級・学校づくりを進める。スクールカウンセラーや専門家による学校支援の充実を図る。適応指導教室においては学校への復帰をめざす。		
実施状況	<p>① 豊山町いじめ防止基本方針の策定（平成31年1月）</p> <p>② 学校いじめ防止基本方針の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」ことの共通認識 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校対策委員会の開催（毎月1回） ③ 町いじめ問題等（不登校）対策委員会の開催（5回） ・生徒指導主任・スクールカウンセラー・適応指導教室担当・県家庭教育コーディネーター・担当校校長・教頭・町教委の参加による情報交換と指導 ・「いじめに関するアンケート調査」（3回・無記名式）の実施 ・町作成の保護者向け啓発資料リーフレット（携帯・スマホ含む） 『ネットトラブルから子どもを守るために』の配布と効果的な活用 ④ 町適応指導教室「しいのき」の取組（小学生1名・中学生5名） ・学校への復帰をめざした入室児童生徒の学習支援や社会適応への取組
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを許さない全校態勢での取組の結果、継続した悪質ないじめはないが、年30日以上長期欠席の不登校児童生徒は、依然多い状況にあるため、相談体制の充実に努める。 ○ 町適応指導教室においては、生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画されており、生徒が安心できる心の居場所として大きく役割を果たした。

事業3-17	生徒指導の充実	評価	A
目標	非行問題行動等に対しては生徒指導研修を充実するとともに、警察等町内外の学校関係機関と連携し、問題の早期発見と早期解決に努める。		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒指導の重点 ・基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い）の徹底と定着化への取組 ② 教育相談の充実（3回） ・学期に1回、教育相談を行い、児童生徒の実態把握に努め、不登校や問題行動の未然防止と、問題の早期発見と早期解決への取組 ・児童生徒の心の居場所となるような学級・学校づくりに努め、児童生徒・保護者との信頼関係の構築 ・ケース検討会（カウンセラーも含める）による情報の共有化 ・スクールカウンセラーとの連携の強化（保護者へも対応） ③ 学校関係機関との連携 ・町教育委員会・町福祉課・町保健センター・町適応指導教室「しいの木」・中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、問題行動への未然・再発防止、早期発見と解決への取組 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級担任以外との教育相談の機会を設定し、学校全体で情報共有して児童生徒を見守る体制づくりを構築した。 ○ 警察や児童相談所との連携をさらに密にし、問題行動の防止と早期発見への取組を継続していく。 ○ 青少年育成会議による巡回指導が定着し、協力した取組が行われた。今後も、巡回パトロールの実施や自主防災パトロール隊との連携を深めながら、非行問題行動のない安心・安全なまちづくりの維持・継続に努める。 ○ 関係機関との連携のもと、全ての小中学校で落ち着いた学校生活が展開された。 		

IV 文化財の分野

5年後の豊山町のめざす姿	文化財保護の意識が浸透し、町民と行政が協働で保護に向けて取り組んでおり、郷土の文化財が身近なものとして町民に親しまれるよう、広く活用していきます。	総合評価	A
--------------	---------------------------------------------------------------------------	------	---

事業4-1	文化財の調査・保護	評価	A
目標	文化財の調査・研究に努めるとともに、民具などの郷土資料の収集を行うほか、既存の県・町指定文化財の保護に努める。		
実施状況	<p>① 文化財保護審議会の開催 <『まとめ』P67 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町の文化財保護事業に関する点検と評価について（1回） <p>② 指定文化財の保護・保存 <『まとめ』P67 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵）の保護・保存 <p>③ 郷土資料の収集と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民具などの郷土資料の収集 <p>④ 町史編さん事業<『まとめ』P69 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町制施行50周年に向けた町史の編さん事業 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保護審議会を中心に適切に点検・評価を行った。その結果、町指定文化財（楠）に修理の必要が生じたため、修繕に対する補助金を交付した。 ○ 住民から寄贈された民具などの郷土資料について適切に収集されている。 ○ 町制施行50周年を迎える令和4年度を機会に町の行政史をはじめとした豊山町史の編さんを行う。平成30年度は委託業者を決定し、また、町史編さん委員会を設立・開催し、編さん体制を整えた。今後は資料の収集方法、保管場所などを検討する必要がある。 		

事業4-2	文化財保護意識の醸成と担い手の育成	評価	A
目標	文化財マップの作成や文化財研究会との連携を通じて、町民の文化財保護意識の醸成を図り、文化財保護を担う人材を育成する。		
実施状況	<p>① 文化財マップ作成と啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究会が作成した『とよやま文化財まっぷ』の配布と活用 ・身近にある郷土の文化財に気付き、その保護に努める意識の醸成 ・歴史講座の開催（5回）参加者13人【前年比3人減】 <p>② 文化財研究会の活動と支援事業 <『まとめ』P68・69 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会、郷土資料室整理などの活動、放課後子ども教室との交流 ・現地研修会（六華苑、九華公園、岩村城歴史資料館、城下町、大正村、萬松山、常安寺）や学習会（郷土料理、町議会傍聴、DVD「遷宮」鑑賞）の実施 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『とよやま文化財まっぷ』は、郷土愛を育むためにも大切な教材である。文化財保護を担う若い世代の人材育成のためにも、指導できる教員の育成と、小中学校での社会科授業での効果的な活用が望まれる。 ○ 「郷土の歴史を巡る」～豊山の「むかし」あれこれ～をテーマにした歴史講座 		

	<p>を開催し、郷土愛につながる取組を実施した。</p> <p>○ 文化財研究会による研修会・学習会の開催や特色ある諸活動など、精力的な取組により、文化財保護意識の醸成に大いに寄与した。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------

事業4-3	文化財資料の活用促進	評価	B
目標	郷土資料室での郷土資料の展示方法を継続的に改善・充実するとともに、学校教育でも効果的に活用するなど、魅力ある地域社会の創造に向けて郷土資料を有効に活用する。		
実施状況	<p>① 郷土資料室の整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展の展示（豊山の歴史・民俗） 民家の再現・出土品・古地図・農具・民具・竹細工などの展示 ・文化財アドバイザーによる小学生の社会科見学への説明 ・郷土資料室の所蔵している民具などの紹介と啓発 ・毎月発行している図書室だより『書窓』に「郷土資料室のページ」を掲載 <p>② 郷土資料室展示方法の改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに企画展・特別展の開催 特別展示コーナー「戦前・戦後のレコード展」「古地図展」の展示 ・季節や目的を絞った展示会、時節パネル『歳時記』の掲示 郷土文化（昔の正月・節分・お雛さま・田植え・お祭りなど）の掲示 		
評価と改善策	<p>○ 郷土資料について、テーマごとに企画・特別展や歴史講座を開催するなど情報発信に努めた。町史編さん事業とも関連して、郷土資料の整理及び活用について、さらなる推進に努める。</p> <p>○ 小学校社会科の授業などで郷土資料室を見学・活用する仕組みを作る。</p>		

V 芸術・文化の分野

5年後の豊山町のめざす姿	芸術・文化によって、町民の豊かな心が養われ、地域社会に潤いがもたらされます。また、指導者の発掘育成や練習場所、発表機会の充実により、自主的な活動を活発に行っていきます。	総合評価	A
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------	------	---

事業5-1	芸術・文化活動の推進	評価	S
目標	文化振興事業やサロンコンサートを行い、町民に多くの優れた芸術・文化に触れる機会を提供する。また、町文化協会と協力して町民が自主的に行う文化活動を支援し、活動成果を発表する機会を提供する。		
実施状況	<p>① 文化振興事業の推進 <『まとめ』P21 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とよやま寄席 伝統芸能を楽しむ」入場者数 320 人【前年比 43 人増】 文化振興事業サポーター（公募 8 人）による企画・運営段階からの参画 <p>② サロンコンサート事業の開催 <『まとめ』P21 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月「あの時聴いたなつかしい歌を…」入場者数 44 人、9月「秋の懐かしい歌」入場者数 29 人、12月「オペラ」入場者数 38 人、3月「名曲アルバム」入場者数 50 人（年 4 回開催）【前年比 7 人増】 <p>③ 文化展・芸能発表会の支援事業 <『まとめ』P42 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能クラブ 15 団体が出演 総出品数約 800 点 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公募のサポーターによる企画段階から参画・運営の文化振興事業コンサートの開催を始め、町民の自主的な運営による文化展や芸能発表会、文化フォーラムでの盛会は、芸術・文化による潤いのあるまちづくりの振興に大いに貢献している。 ○ サロンコンサートは住民が気軽に芸術音楽に触れることができる貴重な機会となっている。より多くの住民が参加できるように周知に努める。 		

事業5-2	文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援	評価	A
目標	町民自らが自由にあらゆる場所、あらゆる機会を利用して芸術・文化活動を行うことができるよう、町文化協会の活動を支援するとともに、芸術・文化グループなどの育成と支援を行う。		
実施状況	<p>① 文化振興団体の活動と支援事業 <『まとめ』P43~45 参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会への助成支援（機関紙『ふれあい』発行など） ・加盟団体（31 クラブ・合計 381 人）の活動 <ul style="list-style-type: none"> 16 芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・やまびこクラブなど） 15 文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・手芸スクール・豊山俳句クラブ・書道クラブ・豊山写真クラブ・絵画クラブなど） ・小中学校 P T A サークル活動への支援 <『まとめ』P45 参照> <p>② 文化施設の整備 <『まとめ』P59~66 参照></p>		

評価と改善策	<ul style="list-style-type: none">○ 文化芸術の発展と振興のため、活動している文化振興団体に対して支援を行った。○ 文化協会会員の高齢化に伴い、会員数が減少している。とよやまチャンネルなどのメディアを活用して加入促進を図っていく必要がある。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第四部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

丹羽孝之	前 豊山町立志水小学校長
後藤孝文	岐阜聖徳学園大学非常勤講師

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	令和元年7月22日（月）	14:00～16:30
第2回外部評価委員会	令和元年8月23日（金）	10:00～12:00

1 丹羽孝之委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 様々な教育環境の変化や、国・県の様々な教育施策の改訂に対応すべく、適正な組織・計画のもと、実効性のある審議等が行われ、教育行政がスピード感を持って確実に進められている。

II 教育委員会の活動状況

- 教育委員による小中学校現場の諸行事などの教育活動の視察・指導、各校長との合同会議での率直な意見交換など、子どもたちを大切にそして教育現場を大切にされた心の通い合う活動は大変評価したい。
- 教育行政上の課題も多くある中、時代の要請を的確にとらえ、様々な検討、対応がなされている。今後も一層、実効性のある計画を立て、研修等も行われながら、柔軟かつ適切に活動が進められることを期待したい。

◎ 主要施策と事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 平成22年度に始まった推進計画が、公募による一般住民の代表とともに、関係分野の代表と生涯学習推進審議会を組織し、そこを核としてまとめの時期を迎えつつあり、順調に成果を上げてきているのは素晴らしい。豊山町ならではの温かなまちづくりが一層展開されていくことを期待したい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- 公募による住民（文化振興事業サポーター）を活用するとともに、町民のニーズ把握のためのアンケートの結果も踏まえながら事業の見直しや新たな事業の導入をされ、大きな成果をあげたのはとてもよかったと感じた。さらに、「ふれあいひろば」や「スポーツ少年団」など、多くの住民が指導者となって活動を推進できているのは素晴らしいと感じる。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- 広報やホームページの活用とともに、「とよやまみんなのチャンネル」を使って、利用者の活動の様子や感想を話してもらったりして、利用を呼びかけたり、世代交代も視野に入れた指導者の勧誘をされたりしてはどうか。また、「豊山町まちづくりサポーター」の番組出演による情宣を考えてみるのもよいのではないか。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 情報誌「生きがいタウン」の町ホームページへの掲載、「とよやまみんなのチャンネル」での講座紹介など、情報提供の改善が精力的に進められていることを評価したい。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- 町民にとっての利便性等を考慮しながら整備が図られ、確実に成果が上がっている。航空宇宙産業に大きく関わる企業等が存する町として、学校教育との連携も図られている状況を踏まえ、図書館の航空宇宙図書コーナーの充実は、是非一層進めていただくと良いのではないか。

事業1-6 読書活動の推進

- 子ども読書活動推進計画が策定され、それに基づいて、小中学校等の読書活動とも指導・連携を図られながら、確実に成果を上げている。小学校へのボランティア団体の紙芝居や人形劇の公演も、大変素晴らしい取り組みである。子どもたちは「お話」を観たり聞いたりするのが大好きで、感受性豊かな子どもたちのこうした体験は、今後にもつながるとも大切なものであると思う。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 新しい、話題のスポーツも取り入れながら、親子で楽しめるようなものも含め、社会体育・生涯スポーツの推進が図られている。小さな頃から楽しくスポーツに親しむ空気が町にあり、素晴らしい町の伝統ともなっている。長年にわたる関係各位のご支援・ご協力の賜物であると思う。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 参加者のニーズを検証されながら事業の推進を工夫され、成果も上がっている。昨今の少子化や核家族化等に伴う子育て支援・子育てネットワークの重要性は増すばかりである。関係部局とも緊密な連携を図られ、継続して質の高い事業を進めていただけたらと思う。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 合い言葉「子どもは地域で育てよう」のとおり、行政が調整役となって、多くの町民の方々が「ふれあいひろば」などの様々な場面で子どもたちと交流され、地域の教育力が根付いているのは素晴らしい。町の状況、町民の要望を的確にとらえながら、新たな活動場面の設定などを模索しつつ、町の良き伝統を継承して行って頂きたい。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 青少年育成会議を中心に、関係団体の協力と相まって、子どもたちの健全育成が図られているのは素晴らしい。スポーツ少年団や子ども会の活動を通して、子どもたちが豊かな心を育み、心身ともにたくましく成長していけるよう、今後とも、町民ぐるみの取り組みが様々な展開されることを期待します。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 当局の指導の下、各学校が開かれた学校経営に努め、それぞれのHPに掲載されているように、保護者・地域に様々な情報発信をしながら、適切な学校評価・学校改善に取り組んでいる。地域住民を外部ボランティアとして招き、地域との交流を進めながら、授業改善にも取り組んでいる。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 全小中学校の普通教室の空調設備工事に速やかに取り組まれ、とてもよかった。また、学校ごとに必要な補修工事等も進められ、学習環境の改善が図られている。校舎の老朽化が進行している。様々な状況を鑑みながらも、速やかな対応をお願いしたい。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 各学校が、当局の支援のもと、教育課程に位置づけつつ、地域の社会資源等を有効活用し、子どもたちの心に響く授業を展開しているのはとても良い。実施後の成果を検証しつつ、一層の改善に努められたい。航空産業の活用については現在もなされているが、子どもたちにとって一層興味深いものとなるよう、資源の発掘を含め、一層の工夫改善を図っていただきたい。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 当局の支援の下、学校保健活動が計画的に行われている。また、通学路点検の一環としてブロック塀緊急点検やその撤去作業も行われたのはよかった。町独自で心理カウンセラーや支援員を配置し教育相談活動や特別支援教育に力を入れた教育施策を展開されるなど、子ども一人ひとりの健やかな成長を目指した教育活動が様々な展開されていて、大きな成果が上がっている。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 栄養教諭による栄養学習が継続して各学校で実施され、各学校それぞれの取り組みも含めて、食育指導が適切に展開されていてよい。また、食物アレルギーに対する対応など、食の安全に関わる研修会が各学校、また当局主催で行われており、大きな効果を上げている。給食の調理段階での異物混入事故については、再発防止を徹底されたい。

事業3-6 教員の資質向上

- 若手教員の急増に伴う教員の資質の向上に向けた取り組みや、国の新しい教育施策に関わる今日的な課題への対応としての授業研究などが求められている。そんな中、当局の支援、指導のもと、学校現場では様々な具体的な対応が確実に行われていることには評価したい。今後もより一層教育効果の上がる授業実践が行われるよう、各学校への指導助言をお願いしたい。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- ベテラン教員の大量退職に伴って急増している若手教員の育成は、官制研修においても校内の自主研修においても積極的に行われていると思う。併せて、ベテラン教員の培った豊かな経験が継承されていくような実践的研修を積極的に行っていく必要がある。また、新聞等でも報道されているような教員の不祥事については、当局の指導も含め、その根絶に努めて頂きたい。

事業3-8 校務支援の推進

- 国や県の働き方改革の方針のもと、教職員の多忙化解消に向けた取り組みが行われているのはとてもよいことであると思う。教職員が心身ともに健康で、子どもたちと向き合う時間も確保されるのであれば、今まで以上に、一人ひとりの子どもたちと向かい合って、質の高い教育が実現できるのではないかと思う。その意味で、学校事務の共同実施化にも、当局の理解ある対応を今後ともお願いしたい。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 地域社会や関係機関との連携は、それぞれがもつ教育素材の開発・活用という視点で大きな意味がある。これまでの「子どもは地域で育てよう」という町の気風を繋げつつ、有効活用していきたい。また、近年、児童虐待の問題が大きな話題となっている。学校が立ち入りにくい家庭の問題に対して関係機関、行政の関係部署と連携して対応するスクール・ソーシャル・ワーカーの導入も考えてみられてはどうか。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 若者の勤労観・職業観の低下が話題になっている昨今、取り組まれている内容は地域の特色を生かしたものも多く、意義深いものばかりである。また、地域との関連の有無にとらわれず、社会貢献（ボランティア活動）として出前授業を提供する団体等もあり、広く情報収集していくのもよいと思う。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 2020年度からの小学校英語の教科化実施に向けて、外部から専門家を招聘しながら、教員の指導力向上のための研修が図られ、実践段階に入ってきているとのことである。小中相互の実情把握、相互理解も進めながら、移行期間での取り組みを効果的に進めていただきたい。

事業3-12 情報教育の推進

- 中学校において、プログラミング教育に関わり新学習指導要領が2021年度全面実施されるのに先立ち、授業で生徒が一人1台使用可能なタブレットPCが導入された。効果的な活用に向けた町内全教員参加の研修会も実施された。小学校での2020年度からの新学習指導要領実施も含め、大きな成果を期待したい。また、引き続き、当局の支援・指導をお願いしたい。

事業3-13 就学援助の充実

- 就学支援制度の保護者等への周知が適切に行われており、就学困難と認められる家庭への援助も適切に行われていて評価できる。また、新たに始められた「就学予定者への新入学用品費前倒し支給」については、個々の家庭の実情を踏まえた対応で、とても良いと感じた。

事業3-14 道徳教育の推進

- 地域の多くの人材を活用しながら、豊かな心を育む教育活動がどの学校でも積極的に実践され、確実に成果が上がっている。今後も、一人ひとりの子どもの心に響く取り組みを進めていってほしい。教科となった道徳の指導については、子どもたちの実情等を踏まえた教材の工夫も行いながら、適正に実施されていくよう、当局の指導をお願いしたい。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 体力の低下が危惧される昨今の状況であるが、各学校ともに、気象状況等に十分配慮しながら、学校体制として体育的活動、体育的行事を取り入れながら、教育活動が実践されていてよい。部活動については、教育活動の一環として、その教育的意義・効果は大きいと認識しているが、現在の様々な問題点を踏まえ、外部組織、外部指導者の活用も考えながら、「部活動指導ガイドライン」に沿って適正に実施していただきたい。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- 「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」との認識を失わず、また同時に「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で、日頃の教育相談活動（子ども理解）やいじめ不登校対策委員会の開催などを通して、いじめの早期発見、早期解決に取り組んでいると思う。当局においては、スクールカウンセラーの配置や適応指導教室の運営、町いじめ問題等対策委員会の開催などを通して大きな成果を上げており評価したい。

事業3-17 生徒指導の充実

- 様々な問題を抱える児童生徒にとって、学校・学級が「心の居場所」となるような取り組みが進められ、状況によっては学校外の関係機関との連携も図られており、大いに評価できる。今後とも、一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添うような、心の通う教育活動をお願いしたい。

IV 文化財保護の分野

事業4-1 文化財の調査・保護

- 文化財保護審議会を中心に、文化財の保護保存活動や郷土資料の収集・整備が進められており評価できる。町史の編さん事業も始められているとのことなので、この取り組みの中から課題や新たな方向性を洗い出し、調査・保護を見直す良い機会となれば良いのではないかと。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財研究会においては、「とよやま文化財まつぷ」の作成・配布や現地研修会、学習会の開催など、精力的に多くの興味深い活動が行われており、大いに評価できる。小中学校の社会科教員等が研修する場を設けるのも有意義ではないかと。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 郷土資料室では資料収集・整理・展示などが適切に行われており、来場者から好評を得ていると聞いている。今後も、見学者からの要望をアンケートで集約し改善に繋げていかれてはどうか。また、学校からの現地見学とともに、所蔵品の貸し出しや所蔵品を持ち出しての小学校等での出前授業や授業協力などを考えてみるのもよいのではないかと。

V 芸術・文化振興の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 公募のサポーターによる興味深い文化振興事業の実施によって集客が増え、またこれまでも盛大に行われてきた文化展・芸能発表会なども、たくさんの町民が参加され、町民の皆さんの大きな楽しみの一つになっていることは、大いに評価できる。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 豊山町ならではの、伝統ある質の高い文化活動である。後継者を育成し、継承していきたい芸能活動もあり、今後も継続した支援を是非お願いしたい。また、歴史と伝統を大切にしながらも、時代に即した誰もが参加しやすい、参加したくなるような活動、グループの発掘も必要ではないかと。

2 後藤孝文委員による評価

◎ 教育委員会の活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 適切な開催数と丁寧な審議を進めていただいている。また、ホームページにも議事録が直ちに公開されている。
- 引き続き活発な意見交換の場となるよう、努めていただきたい。

II 教育委員の活動状況

- 例年通り、県の市町村教委連合会及び愛日地区、西春地区の教育委員会関係会議、研修等に積極的に参加していただき、他市町村との情報交換、連絡調整等にも努めていただいている。
- 学校訪問や校長との合同会議など、豊山町ならではの現場に即した会議が行われている。今後も積極的に新しい教育、施設等について研修・視察を通して見聞を広めていただきたい。

◎ 主要施策の事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 生涯学習の基本構想・基本計画に基づいて計画的に進められ、関連する各審議会ならびに各実施委員会、育成会等もそれぞれの任務を十分に発揮され、生涯学習のまちづくりの計画的な推進にご尽力いただいている。
- 令和2年度以降の基本構想、基本計画策定にあたっては、第4次産業革命や少子高齢化が一層進む次の10年をにらみ、十分な審議をお願いしたい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- さまざまなニーズに応えると共に、やってみたいと興味をかき立てる多くの生涯学習講座や町民が参画した文化振興事業など、工夫を凝らして学ぶ機会の充実に努めていただいている。
- 中部大学等の近隣大学や地元企業との連携により、学ぶ機会の拡充に一層努めていただければと思う。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- ボランティアの活用による「ふれあいひろば」での活動は、地域で子どもを育てる上でもきわめて有効である。その成果ややりがいの大きさを積極的にアピールしていただきたい。
- 高齢化が進んでいるとはいえ、何かをやってみたいと思うシニア町民は多いと思われる。積極的な声かけ・啓発等によるボランティアの確保、新規サークル活動の発掘・育成を期待したい。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 「生きがいタウン」や町広報の「まなびすと」コーナーでの定期掲載など必要な情報提供がよくなされている。町ホームページから「生きがいタウン」や「まなびすと」にたどり着くのが難しいので、分かりやすく提示できる工夫に努めていただきたい。
- 興味深いたくさんの講座が用意されているので、インターネットやCATVの活用など、今後も様々な方法を使って情報をタイムリーに提供していただくよう期待する。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- それぞれの施設がよく活用され、町民の利便性を考えた運営に向けよく努力されている。
- 社会教育センターでの航空宇宙関連図書コーナーの設置は、まさに豊山町の特色を生かしたもので、次代を担う子どもたちのためにもますますの充実をお願いしたい。

事業1-6 読書活動の推進

- 社会教育センター図書室はよく利用されており、親子読書会・おはなし会の開催等、地道な取り組みがよくなされている。学校と連携した小中学生への啓発を引き続きお願いしたい。
- メディアセンターとして、生涯学習の知の拠点として、ますますの充実を期待する。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 幼児から成年まで、各種のスポーツ教室が開催され活発な活動が展開されている。関係者の努力に敬意を表したい。
- 町民主体の運営による町民体育大会は、多くの参加者による豊山町ならではの恒例の行事である。愛知駅伝やエアポートビューマラソンと共に、今後とも息の長い発展を期待する。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 家族ふれあい事業は、楽しい企画で参加者も増えた。家庭教育講演会も含めてワークショップ型の事業としてさらに発展していただきたい。
- 小中学校PTAへの支援を通して、小中学生を持つ親の家庭教育のさらなる充実を図っていただきたい。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 放課後こども教室事業の充実した取り組みは素晴らしいと思うが、豊山小学校だけでなく他の小学校にも拡充していただきたい。生涯学習ボランティアの活躍にもつながるものと思う。
- ふれあいひろば事業は17種目に渡る、まさに地域の力を借りた「子どもは地域で育てよう」の言葉通りの素晴らしい取り組みである。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 青少年育成会議や生徒指導推進協議会等、町を挙げて青少年の健全育成によく取り組まれており、日頃より尽力されている関係各位に敬意を表する。
- スポーツ少年団には多くの小学生が参加し健全育成に寄与している。子ども会活動は参加者が減少傾向にある中で、中高生によるジュニアリーダークラブが設立されたことは特筆すべきことである。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 学校評価等により保護者・地域の声に耳を傾け、地域に開かれた各種行事も多く実施されており、よく努力されている様子が分かる。
- 文科省はコミュニティ・スクールを目指して学校運営協議会の設置を努力義務とし、また、新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」とも謳っている。これらの施策をうまく活用して、地域により開かれた学校経営にあたられることを期待する。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 限りある予算の中で、空調設備の整備や老朽化による補修・取り替え・改修等の工事に努めている。今後も、児童生徒の安全・快適な学習環境の確保に向け、努力していただきたい。
- 建て替え計画については詳細を示すことは難しくても、将来構想を示すことは安心を生み出す。整備計画の策定・推進をお願いしたい。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 各校とも豊山町ならではの特色を生かした学校運営がなされている。「己が学校」という意識で地域住民からも献身的に支援していただいていることは、素晴らしい。
- スキー研修は、夏のキャンプとは一味違う良き思い出づくりと体験の場として充実した研修となっている。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 各校の年間計画に基づいた保健学習や安心安全講習会、通学路点検など、自らの安全を守るための各種の学習や点検が充実している。
- 町採用の支援員やスクールカウンセラーが多数配置されており、きめ細やかな相談活動が実施されていることは特筆すべきことである。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 給食センターの運営、食育の講習会、食の安全講習会等、いずれも充実した食育が施されている。そのいずれもが、豊山町の特色を生かした取り組みとなっている。
- 異物混入をチャンスとしてとらえ、新給食センターの供用開始を機に安全・安心を誇れるものとしていただきたい。

事業3-6 教員の資質向上

- 各校がそれぞれの現職教育計画に基づきしっかりとした研修を積み重ねている。新学習指導要領の本格実施に向け授業改善への研究を深めたり、小中学校合同の授業研究の機会を持ったりするなど、一層の指導力向上に期待したい。
- 他市町に先駆けて導入したタブレットPCの有効活用を一層進めていただきたい。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 少経験者や若手教員の育成に実効性のあるOJTを取り入れた各種の研修は、有効であると思われる。
- 14名の町採用非常勤講師を対象にした定期的な研修会の開催は、現場に即した実践的な研修で、正規教員と遜色ない力を付ける上で有効な企画である。

事業3-8 校務支援の推進

- 各校とも「C4th会議室」や「定時退校日」「部活なしデー」の設定等、教職員の負担軽減のための様々な工夫や努力がなされている。
- 事務処理の一層の効率化・適正化が図られていることは、子どもと向き合う時間の確保の上で素晴らしいことである。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 教育活動の一層の充実や児童生徒の安心・安全の確保を図るため、地域の学校支援ボランティアやゲストティーチャーの協力を多く得ている。関係者のご尽力に感謝したい。
- 関係機関との協力により、サポート組織が実効性のある力強いものとなるよう期待している。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 各小学校とも市場や航空関連など、豊山町ならではの出前講座や体験活動がよくなされており、小学生の目を輝かせる様子が目に浮かぶ。小学校からのキャリア教育の充実ぶりは素晴らしい。
- 中学校の職場体験は、関係教員の諸準備や受け入れ先の理解と協力で感謝したいが、これらをコーディネートする人材の必要性についても検討していただきたい。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 豊山町独自の取り組みとして小学校1年生から英語に親しむ機会を設けたり、大学講師による指導法研修を行ったりしているのはよい。新学習指導要領の本格実施に向け、今後も英語科の指導法研究の継続した取り組みを期待したい。
- 小中学校の連携の一貫として、英語科の指導について中学校の英語教諭が講師として小学校教諭に助言することは、双方にメリットがあることと期待される。

事業3-12 情報教育の推進

- 他市に先駆けタブレットPCの導入が図られ、その活用も進んでいる。情報モラルの取り組みに加え、小学校のプログラミング教育への対応も今後必要と思われる。
- 保護者参加の「ケータイ・スマホ安全教室」の開催や保護者向け啓発資料「ネットトラブルから子どもを守るために」の活用は、児童生徒の安心・安全な生活や生徒指導と直結するだけに、今後も継続した取り組みをお願いしたい。

事業3-13 就学援助の充実

- 経済的な援助が必要な保護者に対し、今後も適切な支援をお願いしたい。
- 就学支援制度の周知を積極的に図り、教育委員会と福祉課等との連携をよく取り合って適切な就学支援にあたっていたいただきたい。

事業3-14 道徳教育の推進

- 学校支援ボランティアや地域支援ボランティアによる交流活動は、地域と共に体験を通して道徳的実践力を高め豊かな心の育成にきわめて有効である。
- 「考え議論する道徳」への授業改善に向けての授業研究や、評価について具体的な研修をする機会を今後も継続して設け、指導力の一層の向上につなげていただきたい。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 体力向上に向け、各小学校は工夫を凝らした様々な取り組みがなされており、中学校部活動の活躍も素晴らしい。一方で教員の働き方改革に向けた取り組みを今後も進めていただきたい。
- 外部指導員による活動支援は、今後ますますその必要性が高まると思う。一方で外部指導員の採用あたっては、勝利至上主義ではなく教師との協力や連携が取れ、教育の一端を担うにふさわしい資質と能力をもった指導員に限るなど、適切なくみづくりが必要と思われる。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- 各校でのいじめ防止基本方針に基づいた対策、町いじめ問題等対策委員会の開催、町適応指導教室の取組等、危機感を持って強力に対策を進められている。
- 不登校児童生徒については、引き続き「まず一人を救う、そして新たな一人をつくらない」の方針の下、きめ細やかな指導の継続を期待する。特に小学校での不登校傾向にある児童への対策が大切であると考えます。

事業3-17 生徒指導の充実

- 各校での生徒指導や教育相談の充実、関係機関との連携等、組織の総力を挙げてよく行き届いた指導が施されている。
- 問題行動対策に目が行きがちであるが、日頃の楽しい授業づくりや温かみのある学級づくりこそが最大の生徒指導である。この重要性を現職教育等にて研鑽していただけるよう期待する。

IV 文化財の分野

事業4-1 文化財の調査・保護

- 定例の文化財保護審議会での関連各事業の点検・評価、県・町指定文化財の保護・保存が適切に行われていると思う。
- 町制施行50周年に向けた町史編纂事業が文化財保護への新たな契機となることを期待する。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財研究会による「とよやま文化財マップ」の作成・配布や郷土資料室の整理、歴史講座の開催、放課後子ども教室との交流会、現地研修会の開催等々は、豊山町ならではの特色であり、文化財保護意識醸成の視点からも評価したい。
- 文化財保護の担い手の育成については、すでに様々な努力をしておられると思うが、今後ともあらゆる機会をとらえて、町の各世代への啓発や人材発掘に努めていただきたい。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 児童生徒が郷土の文化財資料に触れ、学ぶことは、単なる知識の習得のみにとどまらず、郷土の歴史や先人の営みから自分の住む町への探究心を育み、郷土愛の形成につながるもので、これらを積極的に活用する仕組み作りを期待したい。
- 企画・特別展や時節パネルの掲示など、魅力ある展示となるよう引き続き工夫・努力していただきたい。

V 芸術・文化の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 文化財サポーターによる企画・運営で行われた講演会、また、町民が多数参加したサロンコンサートや文化展・芸能発表会と、いずれも盛会で町民が主体となった潤いのある街づくりが着実に進んでいる。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 31団体381名参加の文化振興団体の活動は素晴らしいことである。また、小中学校のPTAサークルを含め、こういった町民活動こそが町民文化であり、これまでのご当局の強力な支援の賜物であると考えます。